



▲「食品安全」もポスターとして提示しました。

第9回 食育推進全国大会に参加

2014年6月21日と22日に長野市で第9回食育推進全国大会が開



▲内閣府ブース内の様子。多くの方に来訪いただき盛況となりました。

催されました。この大会は、国や地方公共団体に加え、多方面から様々な団体が連携、協力し、国民に食育を推進・浸透することを目的としたものです。

食品安全委員会は、内閣府ブース内に「科学の目で食の安全を守ろう」をテーマに出展し、食品安全に関するパネルの掲示や関連DVDの映写を行いました。科学的な視点からリ

スク評価を行うことや食品添加物及び農薬に関する安全性の仕組みについてわかりやすく説明、解説しました。来訪者の質疑応答も盛んで、本誌「食品安全」を配布しながら、多くの方々に食の安全に関する情報を提供しました。

学生等を対象とした「訪問学習」受け入れを行っています

食品安全委員会ではリスクコミュニケーションの一環として学生を対象とした訪問学習の受け入れを行っています。

6月5日に順天堂大学医学部の学生8名が食品安全委員会を訪れまし



▲説明に聴き入る、順天堂大学の学生達。

た。当委員会が評価機関であることやリスク評価の方法について説明し、学生との質疑応答を行いました。「評価に費やす時間はどのぐらいか」、「評価するうえで必要な実験データはどこから入手するのか」といった質問や、「食品安全委員会での医師の役割は？」という医学生ならではの質問もありました。

8月5日には日本大学短期大学部生物資源学科食品学研究室の学生23名が訪れ、当委員会の説明後、食品添加物や食中毒に関するグループワークを行いました。戸惑いなが

▼日本大学短期大学部の学生達。



らも真剣な表情でチーム一丸となって正解を導き出そうとする様子が見え、かがえました。

大学生だけでなく高校生や中学生の訪問学習も受け入れています。こうした取り組みを通じて当委員会に関心を持ち、知ってもらうことが食の安全につながると考えています。

食品中の放射性物質に関する現状と課題 ～正確な理解のために～ 食の安心・安全フォーラム

8月25日に消費者庁、厚生労働省、農林水産省、食品安全委員会、京都府、京都市の連携で、食の安心・安全フォーラム「食品中の放射性物質に関する現状と課題」を京都市で開催し、約150名が参加しました。

福島県立医科大学災害医療総合学習センター熊谷敦史副センター長による基調講演「放射線の健康影響～食品の安全性について考える～」に始まり、京都生活協同組合による放射性物質問題への取り組み及び京都府による放射性物質検査状況の報告、京都医療科学大学大野和子教授による放射線影響に関する資料紹介がありました。その後のパネルディスカッションでは、全員に配布した赤と青のボードを使い、参加者の反応を確認しながら意見交換が進められました。

本フォーラムの資料は下記 URL でご覧いただけます。



<http://www.fsc.go.jp/fscis/meetingMaterial/show/kai20140825ik1>